

第533回 放送番組審議会

1. 日 時 2017年9月19日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 9名

出席委員 8名

委員 長	千葉 隆史
副委員 長	五日市 知香
委員	三浦 茂樹
委員	恒川 かおり
委員	照井 勝也
委員	佐藤 俊彰
委員	大内 敦
委員	佐藤 健志

欠席委員 1名

委員	大橋 綾子
----	-------

社側出席者	檜崎 憲二 (代表取締役会長)
	榎野 信治 (代表取締役社長)
	山口 英二 (専務取締役)
	青山 尚之 (常務取締役 兼 編成局長)
	池田 学 (営業局長)
	柴柳 二郎 (報道制作局長)
	菊池 健 (報道制作局報道部専任部長)

事務局	遠藤 隆 (編成局放送番組審議会事務局長)
	平山 亜希子 (編成局編成部副部長)

4. 議 題

「ニュースプラス1 特集 あれから家は…岩泉町台風10号から1年」

8/26 (土) 10:00~10:30 放送

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意見

委員側意見

- ◆ 災害は時間が経つと忘れられがちだが、時間が経過してもこうした特集を組んで現状でどういう課題があるのかを発信していただくのは、非常に意味がある。
- ◆ 見応えのあるドキュメンタリーに仕上がっていた。非常に時間をかけて丁寧に取材をされた事がよく分かった。1年経っても被災者の方の生活再建という観点から、様々な問題がそのまま残っているという事がよく伝わってきた。
- ◆ 出前カフェから入って、その中で「木も流れる。牛も流れる。」という言葉が非常に印象に残る言葉だった。さらに被害の状況が紹介されて改めて、被害の大きさを再認識した。そのあとNPO法人の活動を紹介していただいたのが良かった。
- ◆ 再建の目処、お金のやりくりもつかない中で、お祭りが希望に変わるもので、大事なんだなと感じた。
- ◆ 岩泉町は非常に広く、沢目に集落が点在している、被害の程度も含めて、その距離感や立地条件がもう少し詳細に紹介されたほうがよかった。例えば、生活橋と言われるところが190か所ほど被害に遭っていて、そのうち70か所しか復旧できない、公的支援もないというふうな事も、もう少し掘り下げた詳しい内容があったら、甚大な被害の内容が理解できたのかなと感じた。
- ◆ 「復旧に何百万もかかるなら、規模の小さい農家は経営が成り立たない。後継者がいない所はほとんど諦めと思う。」というインタビューは、農村部の、災害だけではない根源的な問題が災害復旧の難しさをより大きくしているのではないかという、問題提起も感じた。

局側意見

- ◆ 岩泉の国道を走っていると気付かないが、ちょっと入ると1階ががらんどうになっていて2階が残っているという家がたくさんあり、1年経ってもこんな所に暮らしているんだというのが印象に残り番組にした。在宅避難の方の取材の了解をいただくまでが時間がかかった。
- ◆ 映像として集落が点在している、遠いというのが難しくて地図のCGにしてしまったが集落の説明も含めて地図のスーパーを出すとか、工夫の余地はあったかもと反省をしている。

- ◆ 九州の大雨や大分の豪雨災害などこれから在宅避難とか家の問題が出てくると思われるので、他県の系列と協力して取材してみたい。

- ◆ 9月番組審議会のテレビ放送

- ◆ 9月26日（火）11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」